

目的：日本経済の再生に向けて、青少年交流を通じて、我が国の強みや魅力等の日本ブランドや日本的な「価値」に関する理解と関心を深めるために、日本政府（外務省）により進められている事業です。原則として、全国から選抜された中・高校生が米国において日本の魅力等についての情報を発信し、国際的な視野を持った次世代の人材として成長するための経験を培うことを。9泊10日の滞在中、オリエンテーション、日本および地域の強み・魅力についてプレゼンテーション、学校交流（1～3日）、ホームステイ（2泊3日）、関連機関表敬、歴史・観光・自然の名所訪問、報告会等を実施しました。以下は生徒の感想より抜粋。

初めてのプレゼンテーションでどうやればいいかとても迷いました。とても大変で作るときは一悶着ありましたがとても楽しむことができました。発表では他校との歴然とした差が見えましたがどうにか私たちらしくできたと思います。

**プレゼンをやってみて、日本人とアメリカ人の反応の差を実感した。日本人の反応のなさは、周りを気にしすぎだからなのではないかと思った。アメリカ人のように思ったままに声に出したりしてるのを見たら、それだけで楽しそうだったし、羨ましく思った。日本人のおしとやかさも大切だと思うが、騒いでもいい時には目一杯騒いだほうが充実するのではないかと考えた。**

**たくさん友達ができてたくさん喋りかけてくれたのにうまく返せないし自分から話しかけたりするのができなくて悔しかったです**

地域によってプレゼンへの反応が様々であったこと、個人的に1番印象に残り伝えていきたいと思ったことはアメリカという街中もきれいで裕福な国にもその日1日の生活に苦労する貧しい人たちもいるということ。その人たちも見た直後に食べきれない、飲みきれないというだけの理由で何の迷いもなく食べ物、飲み物を捨てる姿を見て衝撃的だったことなどを伝えていきたい。

楽しかったことはアメリカのスタイルに触れられたことです。学校は三校、ホームステイもさていただきとても触れられた10日間でした。向こうは車が多かったり大きなショッピングモールがあったり日本よりも何かもが大きかったです。







